

「東北大学環境報告書2009」に対する評価

東北大学環境報告書評価委員会

東北大学の環境に関する取り組みを内部と外部双方に発信する媒体として良くまとまっており、本学の様々な環境活動が網羅され、情報の開示とともに適正な評価・分析がなされている。全体の構成も年々大変わかりやすくなっており、データの精度が上がっている結果だと思うが、個別の内容も整合が取れ、理解しやすくなっている。2008年度版と比較すれば、総ページ数は1割強(7ページ)減っているが、環境活動に直接関連する項目に的を絞った記述で、すっきりとした印象をうける。特に、9ページ「総論 6.環境目標および環境活動計画と実施状況」の表は、2008年度の実施状況と掲載ページが追加され、全体像を把握し易くする工夫がなされている。様々な環境関連データの収録に努めた成果としての本報告書は、事業所の報告義務を十分に果たし、かつ目的に適ったものとして、評価したい。と同時に、大学と外部環境との接点も含めて、本報告書がさらに充実し、東北大学の環境マネジメントに活用されることを期待したい。

環境マネジメントを向上させるためには、特に目標設定とその評価が基本であり、その観点から内容の向上と明確化を図るため、編集にあたってはさらに以下の指摘を参考にされたい。

- 1) 総論のP6の環境方針(1)~(7)に対してP9での環境目標が設定されており、総論で掲げた各環境方針、環境目標に対して、実施と評価の詳細を記載すべきが「各論」だと思うが、「各論」の章立てが、各環境方針・環境目標にストレートには対応していないように見える。例えば、1.4.3 キャンパスの環境・安全管理は、環境方針にしたがえば、教育・研究の項目(P26)ではなく、別の章とすべきではないか。
- 2) 表-2の「施設の安全管理と利用率向上」や「教職員・学生の健康管理」については各論での具体的な記述がない。明確な評価記載がないのは、報告書として改善すべきであるし、環境問題として評価基準が設けられる問題か考慮すべきである。表-2は総論と各論の一覧表示であり、環境目標に対する今年度の結果(活動)の評価も一括表示すれば大学の活動が一目で分かり易くなる。その方向での取り纏めができないか。
- 3) 大学の削減目標として、2%削減が冒頭から繰り返し記述されているが、達成度についての記述が分かり難く、また削減目標の根拠が明確ではない。強調したい方針であるなら、その重要性を理解させる根拠を明示すべきである。
- 4) 東北大学の環境への取り組みに関する具体的な数値が掲載されているが、東北大学が達成した数値が高いのか低いのか理解するために、他大学や他の事業所等と比較も記載することが望ましい。
- 5) 外部からの客観的評価も集めるために、例えば、ホームページに対して寄せられた意見など、一般の方の声を集められないか。また、大学で教育を施している学生の意見が少ないように思われる。学生の声を集める・参加を促す工夫も必要に思う。